

スー ज्याヌ® 配合錠を 服用される患者さんへ

監修 門脇 孝 先生

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長



スー ज्याヌ® 配合錠を服用される患者さんへ、
先生より1枚ずつお渡しください。

スー ज्याヌ® 配合錠を服用される患者さんへ

監修 門脇 孝 先生 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

スー ज्याヌ® 配合錠は、DPP-4阻害薬 ジャヌビア® 錠(シタグリプチン)と、SGLT2阻害薬 スーグラ® 錠(イプラグリフロジン)の2つの血糖値を下げる成分を1錠に含有した2型糖尿病の治療薬です*。

※1型糖尿病患者さんはこのお薬を服用しないようにご注意ください。

服用にあたりご注意ください

低血糖

- 他の糖尿病治療のお薬と同様に低血糖を引き起こすことがあります。
- 特にインスリン注射やスルホニルウレア薬、速効型インスリン分泌促進薬、GLP-1受容体作動薬など、他の糖尿病治療のお薬を併用している方はご注意ください。
- 低血糖の症状があらわれたら、すぐに糖分を摂取するようにしてください。

低血糖の症状

- ・ 動悸(ドキドキする)
- ・ 冷や汗が出る
- ・ 手足がふるえる
- ・ 顔面が蒼白になる
など



症状があらわれたら…

- ・ ブドウ糖(グルコース)5~10gを摂取する
 - ・ ブドウ糖がない場合は、砂糖10~20gまたは糖分を多く含むジュース*などを飲む^{注)}
- 注)α-グルコシダーゼ阻害薬を服用している方は必ずブドウ糖を摂取してください。
- *人工甘味料のジュースでは効果がないのでご注意ください。

脱水症状

- このお薬の作用により、排尿の回数や尿の量が増え、いつもより多く体から水分が出てしまうことがあり、脱水症状を起こすおそれがあります。
- 特にお薬の飲み始めの時期は水分を多めに摂取し、その後もお薬の服用中は水分を多めに摂取するように心がけてください。
自分の判断で水分をとることをやめたり、量を減らしたりしないようにしてください。
- 特に高齢の方、利尿薬を服用している方、血糖値が非常に高い方はご注意ください。また、汗をかいて水分を失いやすい夏場や、初めてイプラグリフロジンを含む配合錠の服用を始められる方もご注意ください。
- 治療中に他の病気にかかるなどで、下痢、嘔吐をくり返したり、食欲不振で食事や水分をとれないことが続くような場合は、スー ज्याヌ® 配合錠の服用を中止し、医師に相談してください。
- 脱水の症状があらわれた場合は、水分補給を行い、医師に相談してください。

脱水の症状

- ・ のどが渇く、口が渇く ・ 体の疲労感(脱水症状)
- ・ めまい・ふらつき(血圧低下) など



ケトアシドーシス

- このお薬の作用により、体内のケトン体*が増えることがあります。ケトン体が増えすぎると、より重大なケトアシドーシスと呼ばれる状態になる場合があります。また、高血糖がみられないケトアシドーシスがあることにも注意が必要です。

*ケトン体：インスリンの欠乏などにより脂肪の分解が促進されたときに体内で増える酸性の物質

- ケトアシドーシスの初期症状*¹と考えられる症状がみられた場合は、血糖値が正常に近くてもすぐに医師に相談して血中または尿中ケトン体を測定してもらってください（正確な診断には血中ケトン体の測定が必要です）。

- ケトアシドーシスになりやすい方*²は、特にご注意ください。

※1 ケトアシドーシスの初期症状

- ・ 吐き気、嘔吐 ・ 食欲減退
- ・ 腹痛 ・ 異常な口の渇き
- ・ 体の疲労感 ・ 呼吸困難
- ・ 意識がもうろうとする
など



※2 ケトアシドーシスになりやすい方

- ・ インスリンポンプを使用している方で、インスリンポンプに不具合が生じた
- ・ インスリンの分泌が少ないといわれた
- ・ インスリン注射を減量した／中止した
- ・ 厳しい糖質制限を行っている
- ・ 体調不良などで食事をとれない状態が続いている
- ・ 感染症にかかっている ・ 脱水を起こしている
- ・ 激しい運動をした ・ アルコールを多飲している

尿路感染症、性器感染症

- このお薬の作用により、膀胱炎などの尿路感染症や、陰部のかゆみや炎症などの性器感染症が起きることがあります。尿路感染や性器感染を起こし、腎盂腎炎*¹、外陰部および会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）*²、敗血症*³など重篤な感染症に至ることがあります。

- 尿や体に異常を感じたら、すぐに医師に相談してください。

- 毎日、お風呂に入る、下着を交換するなど、体を清潔に保つようしてください。

尿路感染症の症状

- ・ 頻尿（排尿の回数が増える）
- ・ 排尿時の痛み
- ・ 尿の色の濁り など



性器感染症の症状

- ・ 陰部のかゆみ
- ・ 陰部のあかみ
- ・ 陰部の違和感
- ・ おりものの色の異常 など

※1 腎盂腎炎（じんうじんえん）：腎臓の感染症で、尿路感染から腎臓に細菌が広がって引き起こされることがあります。

※2 フルニエ壊疽：細菌感染が陰部や肛門周囲に急速に広がって、壊死を引き起こすことがあります。

※3 敗血症：感染症が全身に広がって、肺や腎臓・肝臓などの臓器不全やショック（血圧の低下）を引き起こすことがあります。

その他の注意

- 体重の減少（2kg前後）がみられることがあります。過度の体重減少がみられた場合は、医師に相談してください。
- 発疹や蕁麻疹などがみられることがあります。皮膚に何か異常を感じた際は、医師に相談してください。

MSD糖尿病ポータル



糖尿病の原因や検査、治療法をご紹介します。

<http://dminfo.jp/>

